

第1回沿岸3地区(宮古・釜石・気仙圏域)特別支援コーディネーター連絡会

6月12日(金)釜石祥雲支援学校を会場として、沿岸3地区【宮古恵風支援学校・釜石祥雲支援学校・気仙光陵支援学校】の特別支援コーディネーター連絡会が行われました。各校の支援状況と課題について情報を交換し、沿岸3地区の現状、今後の支援のあり方について話し合いました。

* 宮古恵風支援学校 *

○ペアレントトレーニングについて

幼児教室にて、保護者のみなさんに向けた学習会。

⇒保護者のみなさんに教えるだけでなく、地域の保健師にも教え、獲得してもらったり、保護者のみなさん同士で教え合ったりできるようにし、地域に根ざした学習会が続いていくことを目指している。

○PASSの取り組み・活用について

就学前の様子や関わりの情報を就学先の学校に引き継ぎ、入学後の取り組みや配慮に役立てていくためのシステム。

⇒PASSの活用を進めていくことで、幼稚園・保育園から小学校、小学校から中学校、中学校から高校への引き継ぎをスムーズにしていくことを目指している。



* 釜石祥雲支援学校 *

○相談内容について

⇒教室に入ることができない、学校に行けないなどの相談が増えている。

⇒心理面でのケアが必要と思われるケースや家庭の支援が必要なケースが増えている。

⇒高校からの支援要請が増えている。

多様な相談に対応するための専門性の向上が必要であり、進路担当との連携の他、関係機関との連携を図って支援していくことが課題である。

○サポートブックの作成・活用の試行について

⇒療育教室に通う幼児を対象に作成し、今年度活用を試行中である。



* 気仙光陵支援学校 *

○個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成と活用について

○各校のコーディネーターとの連携と校内支援体制の構築について

⇒校内の支援体制は、初めての外部支援には2人体制で実施し、次回からどちらが支援に出向いても共通理解のもと対応できるようにしている。

○視覚・聴覚・肢体・知的・発達障がいなどの多様な相談に対応するための専門性の向上について

⇒協力員を任命し、専門性の向上を図っていけるようにしていく。

